

# お茶会だより

12月号

矢島保育園 H30.12.26

今年最後のお茶会は床の間に飾らした掛け軸やお花、香合とクリスマス  
の雰囲気が散りばめられており、子ども達も期待に心踊らせながら、楽しく  
お稽古に臨むことができました。

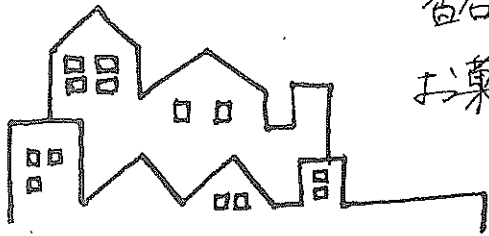


掛け軸 「聖夜」

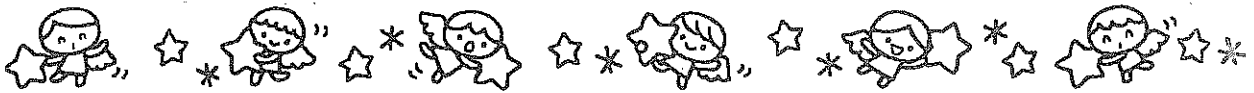
お花 「ウメトキ、クリスマスローズ」

香合 「サンタクロス」

お菓子 練切 「サンタクロースのヤ冒子」



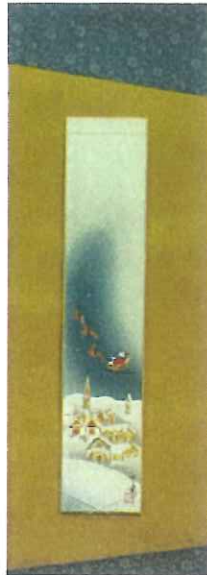
お稽古も後半に入り、作法をしっかりと覚えきりに子ども達。次の動きを促す  
言葉をできるだけかけずに進めていきました。次の言葉がわかっているものの、友  
達らとどうやって息を合わせようか、誰が最初に言いたいのか... たかひはか  
一言目が出るに、しんとした中、長持ちを決めて「おかしをどうぞ」と言え  
子がおりました。決して大きな声ではなからたけれど、頑張りという気持ち  
が伝わり、お茶の作法としてだけでなく、に身の成長が感じられた瞬間でした。



来月はいよいよお家の方を招いてのお茶会参観です。この一年間のお稽古  
の成果としてお点前を披露します。どのようた作法を身につけ、取り組んで  
きたのかをご覧下さい。おうちの方にも心豊かに過ごせる時間を一緒に  
味わっていただきたいと思ひます。子ども達も張り切っていますのでどうぞよろしく  
お願いいたします。



【今月の床の間】



《掛け軸》「聖夜」

《茶花》「クリスマスローズ・ウメモドキ」

《香合》「サンタクロース」

今月は、クリスマスを中心にする床の間。掛け軸は夜空を駆けるそりが、香合は大きな袋を担いだサンタクロースが飾られました。

サンタさんが、みんなの所にプレゼントを届ける途中ででしょうか？



お菓子は、サンタさんの帽子をかたどった物。子ども達からは、「サンタさん、帽子落としちゃったのかなあ」という声も聞かれました。

《茶菓子》“サンタクロースの帽子”  
(練り切り)

【お稽古の様子】

数回に渡って参加すると、年長さんの成長が見えて楽しいですね。

どうぞ

お先に



《今月のお客様》

ぺんぎん組 茂木透真君 祖母 佐々木 ひとみさん  
こあら組 畑澤煌太君 祖母 畑澤英子さん  
ぞう組 佐藤花音ちゃん 祖母 佐藤綾子さん  
矢島恵育会理事 伊藤昌子さん

今回は、植田先生や園長先生からの声かけもなく、自分達で次の流れを考えて進める事ができました。お客さん達も、ぞう組の子ども達の動きを見て真似ながら参加し、感心しきりでした。植田先生からも「ひと月毎に立派になり、今日はお友だちとのおしゃべりも殆ど無かったですね」と褒めていただきました。

お茶碗の置く所は…？年長さんの動きを見るとわかるね。

